

平成21年12月の結果 (二人以上の世帯)

二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり 337,887 円
 前年同月比 実質 2.1%の増加 前月比(季節調整値) 実質 1.0%の増加
 名目 0.3%の増加

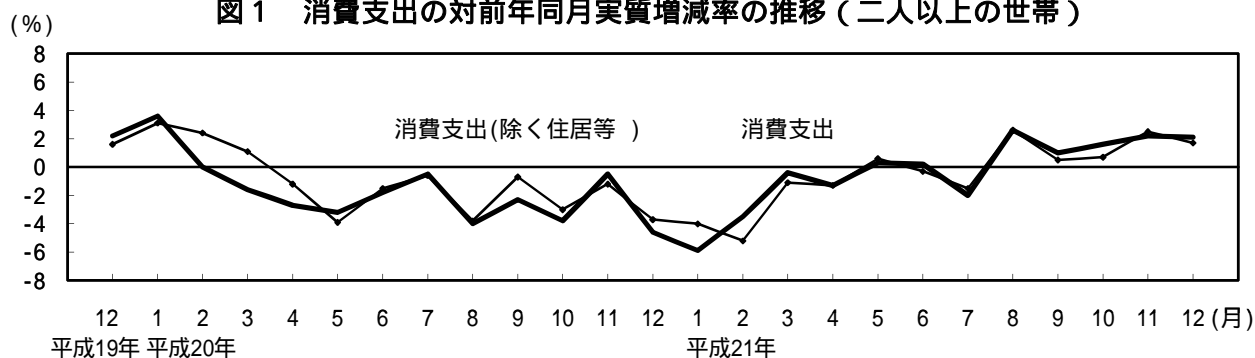
消費支出(除く住居等)は、
 前年同月比 実質 1.7%の増加 前月比(季節調整値) 実質 0.3%の減少
 名目 0.1%の減少

うち勤労者世帯の実収入は、
 前年同月比 実質 4.8%の減少
 名目 6.5%の減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

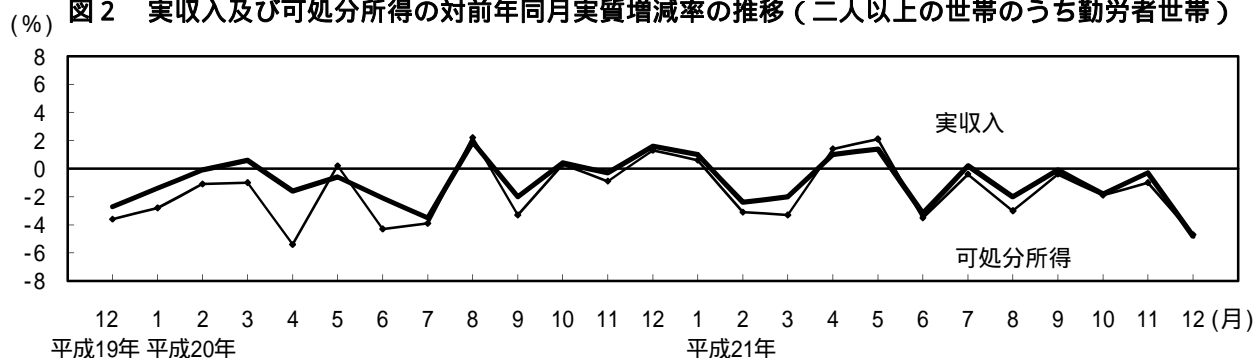
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成20年		平成21年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
消費支出	-4.6	-5.9	-3.5	-0.4	-1.3	0.3	0.2	-2.0	2.6	1.0	1.6	2.2	2.1	
消費支出(除く住居等)	-3.7	-4.0	-5.2	-1.1	-1.3	0.6	-0.3	-1.5	2.6	0.5	0.7	2.5	1.7	

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成20年		平成21年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
実収入	1.6	1.0	-2.4	-2.0	1.0	1.4	-3.2	0.2	-2.0	-0.1	-1.8	-0.3	-4.8	
可処分所得	1.3	0.6	-3.1	-3.3	1.4	2.1	-3.5	-0.4	-3.0	-0.4	-1.9	-1.0	-4.7	
消費支出	-4.1	-5.7	-1.0	0.7	0.4	1.8	-0.9	-1.6	1.2	0.6	0.6	0.1	0.1	
平均消費性向*	-2.5	-5.8	1.6	3.7	-1.0	-0.3	1.4	-0.9	3.5	0.8	2.0	1.0	2.3	

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成21年12月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	337,887	0.3	2.1	2.1		5 か月連続の実質増加
食 料	82,636	-2.3	0.2	0.05	<増 加> 菓子類, 飲料など	2 か月ぶりの実質増加
住 居	19,340	-12.5	-12.1	-0.80	<減 少> 設備修繕・維持	2 か月ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	22,373	-6.1	-1.3	-0.09	<減 少> 上下水道料, ガス代など	3 か月ぶりの実質減少
家具・家事用品	13,096	0.5	5.6	0.22	<増 加> 家庭用耐久財, 家事用消耗品など	3 か月連続の実質増加
被服及び履物	14,546	6.6	8.7	0.35	<増 加> 洋服, シャツ・セーター類など	13 か月ぶりの実質増加
保 健 医 療	14,355	8.5	9.0	0.35	<増 加> 保健医療サービス, 保健医療用品・器具など	5 か月連続の実質増加
交 通 ・ 通 信	43,332	11.4	10.8	1.25	<増 加> 自動車等関係費	2 か月ぶりの実質増加
教 育	10,494	4.2	3.4	0.10	<増 加> 補習教育	2 か月連続の実質増加
教 養 娛 楽	37,036	1.3	4.8	0.52	<増 加> 教養娯楽用耐久財	6 か月連続の実質増加
その他の消費支出	80,680	-0.5	(1.3)	(0.33)	<減 少> 仕送り金, こづかいなど	2 か月ぶりの減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[1.49]	自動車購入, 自動車等関連用品
教養娯楽用耐久財	[0.95]	テレビ, パーソナルコンピュータ
諸雑費	[0.67]	祭具・墓石, 非貯蓄型保険料
家庭用耐久財	[0.22]	電気洗濯機, エアコンディショナ
洋服	[0.15]	婦人用コート, 男子用上着
補習教育	[0.15]	高校補習教育・予備校, 幼児・小学校補習教育
交際費	[0.15]	贈与金
保健医療サービス	[0.14]	他の入院料*, 歯科診療代

< 減少項目 >

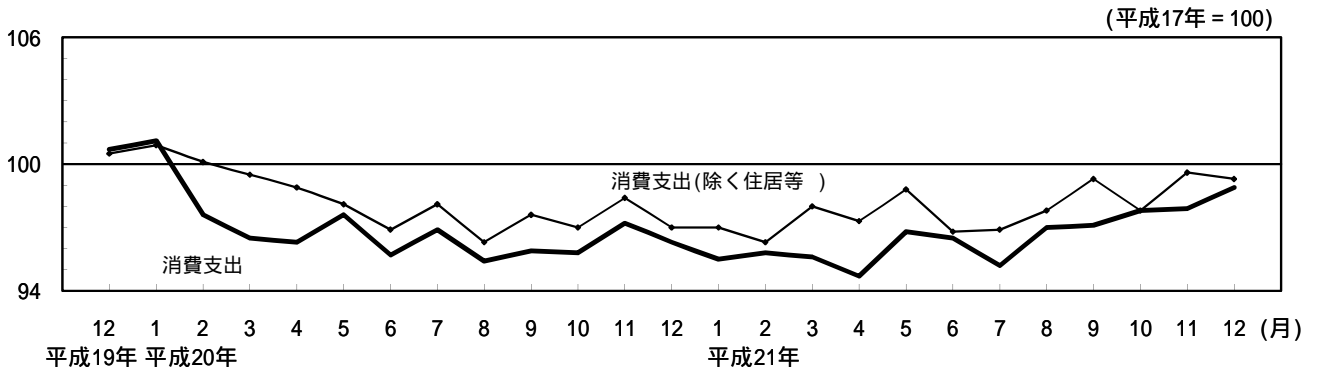
設備修繕・維持	[-0.87]	設備器具, 外壁・塀等工事費
通信	[-0.18]	移動電話通信料, 固定電話通信料

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	平成20年		平成21年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
消費支出	96.3	95.5	95.8	95.6	94.7	96.8	96.5	95.2	97.0	97.1	97.8	97.9	98.9	
対前月変化率(%)	-0.9	-0.8	0.3	-0.2	-0.9	2.2	-0.3	-1.3	1.9	0.1	0.7	0.1	1.0	
消費支出(除く住居等)	97.0	97.0	96.3	98.0	97.3	98.8	96.8	96.9	97.8	99.3	97.8	99.6	99.3	
対前月変化率(%)	-1.4	0.0	-0.7	1.8	-0.7	1.5	-2.0	0.1	0.9	1.5	-1.5	1.8	-0.3	

注 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成21年12月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備考
		名目	実質		
実収入	906,884	-6.5	-4.8	-4.8	5か月連続の実質減少
世帯主収入	748,438	-6.9	-5.2	-4.34	3か月連続の実質減少
定期収入	358,899	-1.9	-0.1	-0.05	3か月連続の実質減少
臨時収入・賞与	389,540	-11.1	-9.5	-4.29	
配偶者の収入	88,004	-5.3	-3.6	-0.35	5か月ぶりの実質減少
うち女性	87,536	-4.9	-3.2	-0.30	5か月ぶりの実質減少
他の世帯員収入	12,544	-9.3	-7.6	-0.11	11か月連続の実質減少
非消費支出	138,497	-6.5	-	-	2か月ぶりの減少
可処分所得	768,386	-6.4	-4.7	-	7か月連続の実質減少
消費支出	359,254	-1.7	0.1	-	5か月連続の実質増加
平均消費性向(%)	46.8	(前年同月)(ポイント差) 44.5 2.3			季節調整値で見ると、75.7%で、前月に比べ、2.5ポイントの上昇となった。